元旦[[1]](#footnote-1)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　香山光郎

恩愛のきづなたちてぞ恩愛の[[2]](#footnote-2)のものを救ひこそせめ

われといふかたきを討ちてそのたゝかひはもも

まこゝろのしめすまことにひたすらにわれしたがはんその日その日に

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（以上昭和14年己卯）

なすことのあらなくしての五十年のとしのはじめの日を仰ぐかな

神ながら清くく直きをぞわれこゝろとせむわが道とせむ

あぢけなき浮世と知りつ五十年のわが歩みきしみちおもへば

さればとてすつべきよにはあらざりしなさけの涙絶えざらむ間は

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（以上昭和十六年辛巳）

1. 『新時代』1942年1月号。最初の3首は『東洋之光』1939年2月号に「折にふれて歌へる」と題して掲載された。 [↑](#footnote-ref-1)
2. 「ゑにし」の誤植。 [↑](#footnote-ref-2)